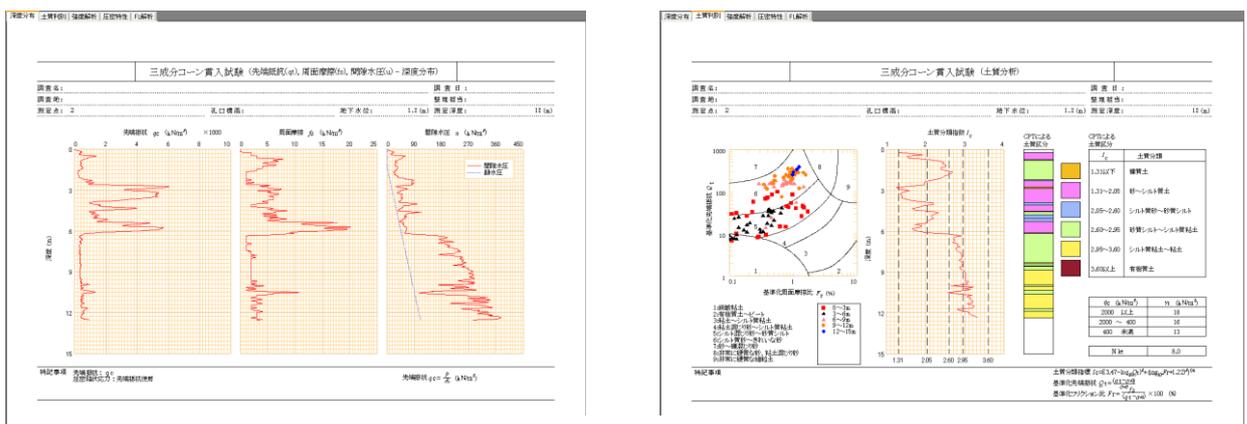


三成分コーン貫入試験用処理ソフト

三成分コーン貫入試験は、高精度かつ多様な情報が得られる調査法として有名です。しかしこのデータ処理の評価は、十分な技術力がないと評価しにくいのがネックでした。これを解決すべく当ソフト(三成分コーン貫入試験処理ソフト)は、現地で得られたデータを解析処理するソフトで、誰にでも簡単に土質、強度、圧密、液状化といった処理ができます。各処理は、タブ選択で瞬時に切り換わります。



処理ソフトウインドウ

特徴(機能)

1. エクセルで編集したテキストデータ(拡張子 csv)の読み込み処理が可能です。
2. 測定データの指定範囲の削除、挿入、移動平均処理等の編集機能とデータ閲覧。
3. ロバートゾン展開図に作図するプロット印の個数、深度間隔等の設定機能。
4. 柱状図の図模様/色模様の切換え機能。
5. 各処理の演算結果データ(拡張子 csvのテキストデータ)出力機能。
6. PDF データ出力機能。
7. 演算素子及び結果値の数値精度(四捨五入、切り捨て、丸目、桁数等)を設定する機能。
8. 単位切換え、入力文字のフォント・大きさ、グラフ曲線の色等の設定機能。
- 9.

処理内容

1. 深度分布処理

“先端抵抗、周面摩擦、間隙水圧－深度グラフ”と各データの表示処理。

2. 土質判別処理

“ロバートソン展開図”、“土質分類指数(Ic)－深度グラフ”と各データの表示処理。

CPTによる土質区分柱状図の作図。

3. 強度特性処理

“換算 N 値、一軸圧縮強さ(q_u)－深度グラフ”と各データの表示処理。

4. 圧密特性処理

“圧密降伏応力(p_c)、鉛直有効応力(σ_{vo}')、過圧密比(OCR)－深度グラフ”と各データの表示処理。

5. FL解析

“FL 値－深度グラフ”と各データの表示処理。

地表変位(D_{cy})の演算処理。

その他機能

1. 先端抵抗“ q_c ”又は“ q_t ”の選択。

2. 圧密降伏応力(p_c)を求める演算素子の先端抵抗(q_c 又は q_t)又は間隙水圧(u)の選択。

3. 先端抵抗(q_c 又は q_t)範囲、土の湿潤単位体積重量(γ_t)の値の任意設定。

q_c 又は q_t (kNm^2)	γ_t (kNm^3)
2000 以上	18
2000 ~ 400	16
400 未満	13

4. コーン係数(Nkt)の任意設定。

N kt	8.0
------	-----

但し、深度間隔毎の設定は出来ません。

使用環境

OS: WindowsXP, 7対応

処理に利用した参考文献

・Robertson, P. K.: Soil classification using the cone penetration test Canadian Geotechnical Journal, Vol. 27, No. 1, 1990. 他多数

監修

(株)設計室ソイル

詳細仕様はお問い合わせ下さい

株式会社 エイ・アンド・ディー

東京都台東区根岸 3-1-19

TEL03-3873-2141 FAX03-3871-0804

URL: <http://www.a-and-d.co.jp>